



食べやすく爽やかな晩生カンキツ「黄宝」

「ハッサク」や「安政柑」などのブンタン類の品種は、独特の爽やかな風味が人気です。しかし、種子が多く、皮がむきにくいといった欠点も持っています。この欠点を改良した新しい品種「黄宝」を育成しました。



図1 「黄宝」



図2 結実状況

特性は次のとおりです。

- 「大橘」に四倍体「不知火」（デコポン）を交配した三倍体品種です。
- 果皮が軟らかいのでナイフが不用で、種子が少なく食べやすいです。
- じょうのう膜は薄く、果肉は軟らかく果汁が多いです。
- 果実重は約400g、果皮は黄橙で果梗部に凸を生じる果実もあります。
- 糖度は13前後、酸度は1.44です。
- 成熟期はカンキツが品薄となる4月下旬以降です。

品種・系統名	果実重 (g)	横径 (mm)	剥皮性	じょうのう の硬さ	種子数 (個)	糖度 (° Brix)	酸度 (wt, %)
黄 宝	404	80	やや易	軟	0.2	13.0	1.44
農間紅八朔	333	95	やや難	中	38.3	12.9	1.40
川野ナツダイダイ	267	101	やや難	硬	22.7	11.3	1.43

注) 3品種は2009年3月17日に収穫して2009年4月20日に調査。

□平成25年2月に品種登録されました。